2021.6

タブレットを使って、租税教室

毎年、ご用命いただいている「租税教室」。小学校でタブレット学習が進んでいますので、今年は、そのタブレットを活用して、初めて挑戦しました。

☆今年はタブレット！

いつもの租税教室はとってもアナログ。クイズは番号札を持って挙げる。グループ学習して紙に書く、黒板に貼る…ということをしていました。

タブレット学習が進んでいる小学校で、社会の先生（この小学校はなんと！教科担任制でした）も積極的にかつようしていらっしゃるとのことで急遽、「やってみましょう！」となりました。

☆タブレットを使ったのは…

進行は、アナログとほぼ同じにして、説明をパワーポイントと口頭で行い、クイズも番号札を挙げてもらいました。

クイズの答え合わせと、自分の考えを書いてもらう場面（2回）をタブレットで行いました。一人ひとり、タブレットに記入して投影しました。（残念ですが）コロナ禍ですので、グループ学習は控えました。

☆とっても便利に！

この自治体では、外国籍の人が人口の８％いらっしゃるので、外国にルーツのある子どもたちもたくさんいます。ふりかえりシートを書いてもらうと、いつもは文字が少なかったのですが、今回は自分の感じたことなどをたくさん書いてくれました。

なんと！タブレットで翻訳もできるようになっていて、自分の感想を母国語で書くと瞬時に日本語にしてくれるのです。便利になりました。

これを活用できれば、授業の内容も理解しやすくなるでしょうし、自分の意見もまとめやすくなりそうです。子どもたちの学ぶ権利が促進されそうです。

＊パワーポイントを使うのは慣れていましたが、双方向で情報のやりとりが行える授業は楽しかったです。タブレットを使って、もっと楽しいことを考えられそうです。来年はもっと、工夫を重ねたいと思いました。

最後に給食をいただいた学校があります。そのときはなんと！カレーとナンでした。（とってもラッキー）献立には地元の食の日、世界の食の日があるそうです。栄養士さんもいろいろな工夫をしていらっしゃるのですね。